

## II 統計 Statistics

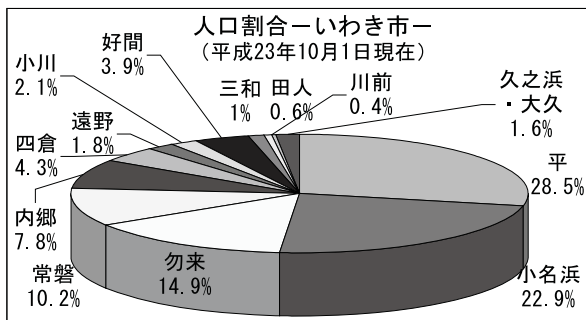
### 人口・産業等

<p>人口・世帯 : 334,221 人、127,405 世帯 (平成23年10月1日現在)</p> <p>年齢別人口 : 0～14歳人口 46,776人(13.7%) 15～64歳人口 208,667人(61.0%) 65歳以上人口 85,510人(25.0%) (平成22年国勢調査)</p> <p>産業別人口 : 第1次産業 4,736 人 ( 3.1%) 第2次産業 46,002 人 (29.9%) 第3次産業 103,148 人 (67.0%) (平成22年国勢調査)</p>	<p>農業 : 戸数 7,823、自給的農家数 2,563、 販売農家数 5,260(専業964戸、兼業4,296戸) (平成22年2月1日現在)</p> <p>漁業 : 漁業経営体数235、漁業就労者761人(平成20年) 漁獲高 5,401 t、645,069千円(平成23年)</p> <p>工業 : 従業者数 24,561 人、事業所数 649 事業所、 製造品出荷額等 97,034,922万円(平成22年)</p> <p>商業 : <u>卸売業</u> 商店数 727 商店、従業者数 6,133 人、 年間商品販売額等 49,621,470 万円 <u>小売業</u> 商店数 3,327 商店、従業者数 21,220 人、 年間商品販売額等 35,296,418 万円 (平成19年)</p>
--	--

### 1 人口密度

いわき市の人口は 334,221 人、世帯数は 127,405 世帯(平成 23 年 10 月 1 日)であり、面積は 1,231.35 平方キロメートルである。人口密度は 271.4 人/平方キロメートルである。

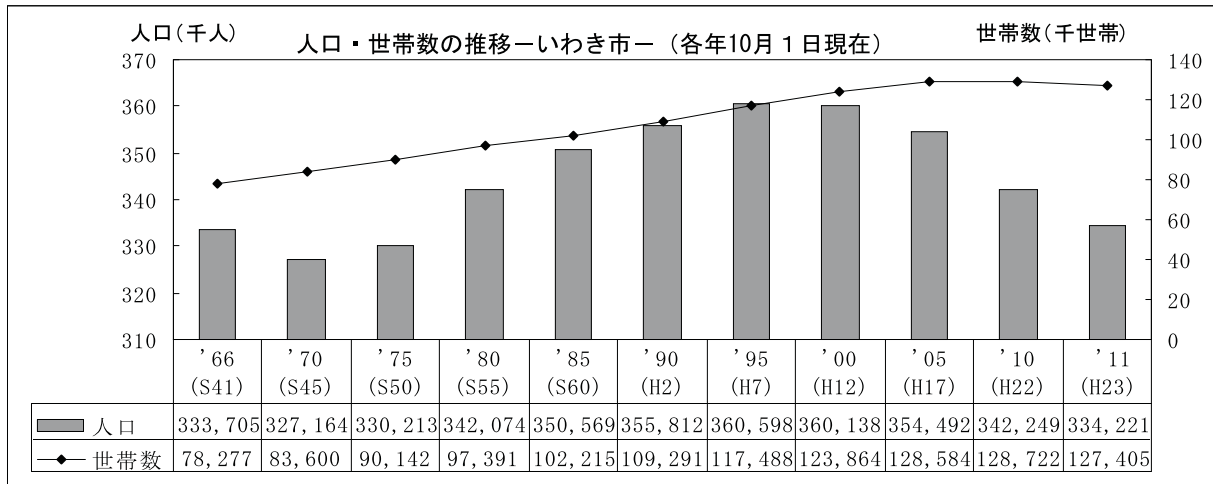
地域別での人口は、平、小名浜、勿来、常磐、内郷の旧 5 市で 84.3%を占める。



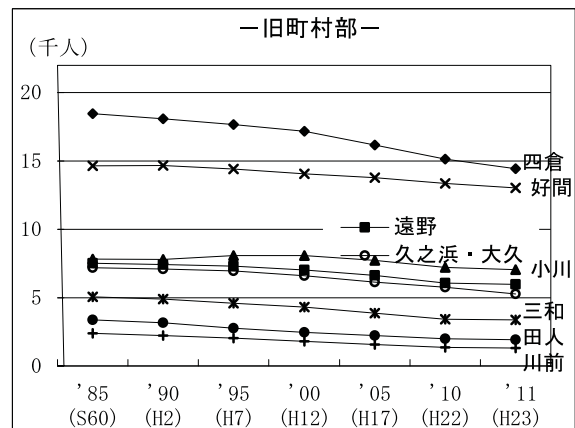
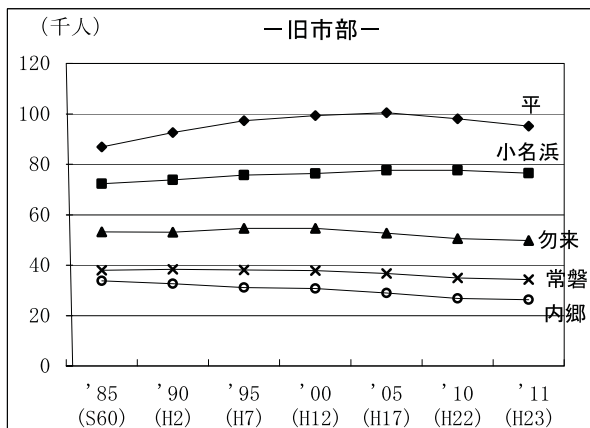
## 2 人口の推移

14 市町村合併直後の昭和 40 年代は、中核的な産業であった石炭産業が衰退し、人口は減少傾向だったが、企業誘致等の要因により昭和 50 年からは増加に転じた。

世帯数は年々増加傾向にあったが、人口は平成 10 年の 361,934 人（10 月 1 日）をピークに減少傾向を示している。



人口	'85 (S60)	'90 (H2)	'95 (H7)	'00 (H12)	'05 (H17)	'10 (H22)	'11 (H23)	人口伸率% '11/'10
いわき市	<b>350,569</b>	<b>355,812</b>	<b>360,598</b>	<b>360,138</b>	<b>354,492</b>	<b>342,249</b>	<b>334,221</b>	▲ 2.3
平	86,852	92,550	97,314	99,256	100,443	98,077	95,142	▲ 3.0
小名浜	72,235	73,794	75,715	76,347	77,575	77,600	76,505	▲ 1.4
勿来	53,249	53,102	54,606	54,566	52,709	50,549	49,729	▲ 1.6
常磐	37,979	38,390	38,054	37,790	36,666	34,886	34,250	▲ 1.8
内郷	33,802	32,579	31,077	30,674	28,964	26,813	26,230	▲ 2.2
四倉	18,462	18,094	17,671	17,179	16,172	15,137	14,432	▲ 4.7
遠野	7,516	7,426	7,307	7,024	6,619	6,065	5,967	▲ 1.6
小川	7,817	7,811	8,087	8,083	7,735	7,211	7,046	▲ 2.3
好間	14,642	14,676	14,405	14,051	13,781	13,358	13,038	▲ 2.4
三和	5,060	4,897	4,589	4,303	3,867	3,424	3,374	▲ 1.5
田人	3,381	3,159	2,775	2,466	2,234	1,995	1,927	▲ 3.4
川前	2,381	2,235	2,047	1,798	1,577	1,359	1,319	▲ 2.9
久之浜・大久	7,193	7,099	6,951	6,601	6,150	5,775	5,262	▲ 8.9



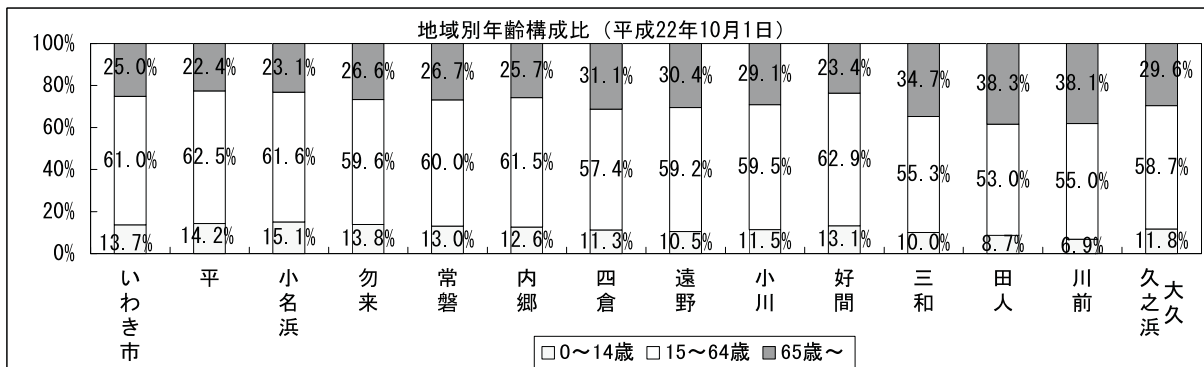
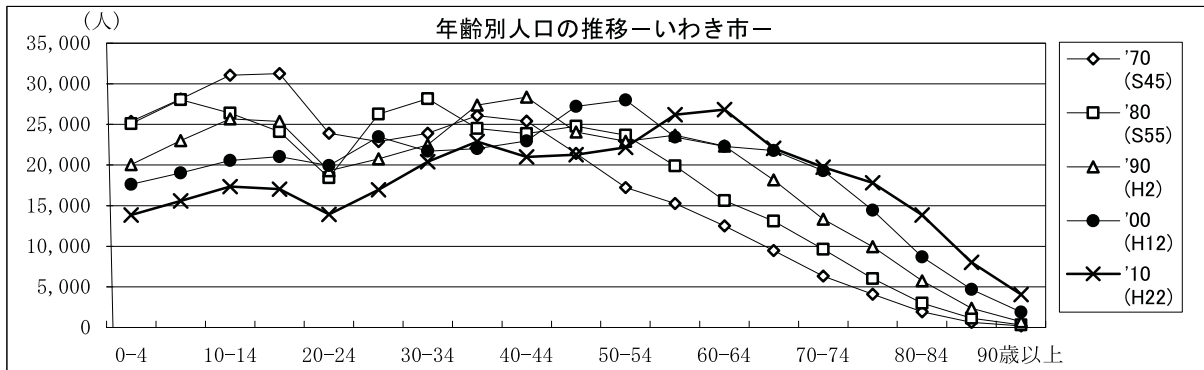
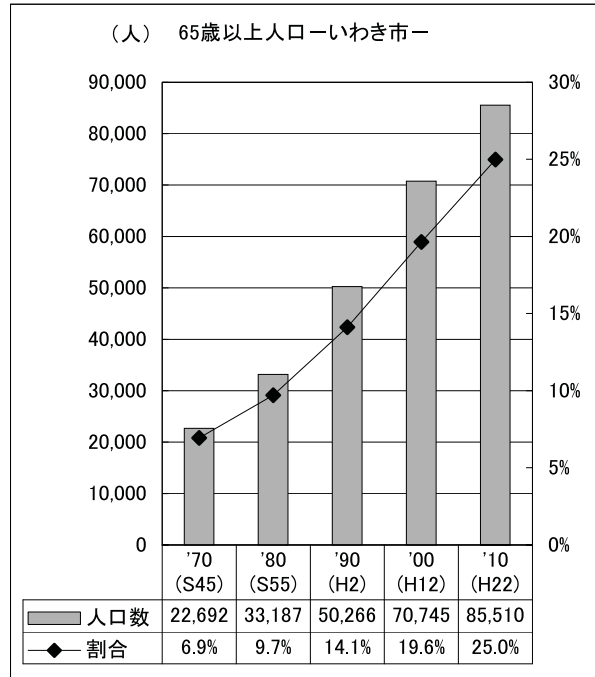
「いわき市の人口」より

※表中の人口には年齢不詳も含む

### 3 年齢別人口

年齢構成は、0～14 歳層が減少し、65 歳以上層が増加した（S45→H22：0～14 歳 25.8%→13.7%、65 歳以上 6.9%→25.0%）。地域別では、四倉、遠野、三和、田人、川前で 65 歳以上の割合が 30.0% を越えた。

いわき市	'70 (S45)	'80 (S55)	'90 (H2)	'00 (H12)	'10 (H22)
総数	327,153	342,076	355,812	360,138	342,249
0-4	25,364	25,105	20,072	17,601	13,860
5-9	28,130	28,057	23,003	19,026	15,568
10-14	31,061	26,373	25,684	20,578	17,348
15-19	31,273	24,093	25,372	21,028	17,036
20-24	23,921	18,462	19,318	19,927	13,918
25-29	22,898	26,259	20,782	23,487	16,930
30-34	23,921	28,162	22,487	21,696	20,399
35-39	26,078	24,510	27,371	22,039	22,879
40-44	25,396	23,881	28,340	22,974	21,017
45-49	21,423	24,779	24,058	27,219	21,276
50-54	17,220	23,692	22,926	28,010	22,189
55-59	15,275	19,903	23,693	23,428	26,194
60-64	12,501	15,613	22,323	22,293	26,829
65-69	9,492	13,076	18,174	21,771	22,071
70-74	6,324	9,633	13,323	19,294	19,731
75-79	4,099	6,022	9,949	14,422	17,813
80-84	1,932	2,983	5,761	8,688	13,825
85-89	640	1,149	2,356	4,693	8,023
90歳以上	205	324	703	1,877	4,047
不詳			117	87	1,296

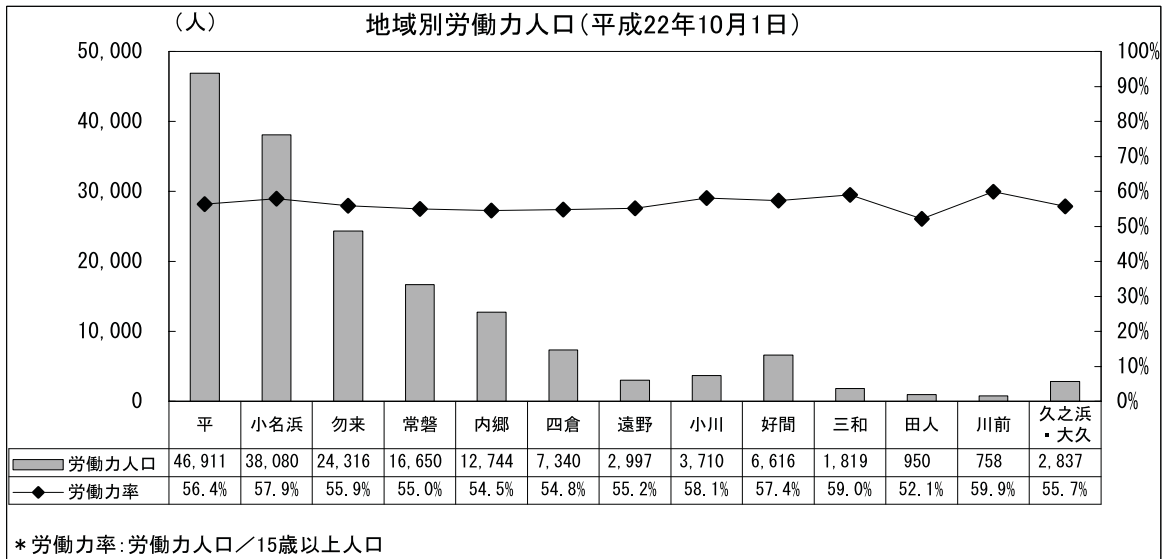
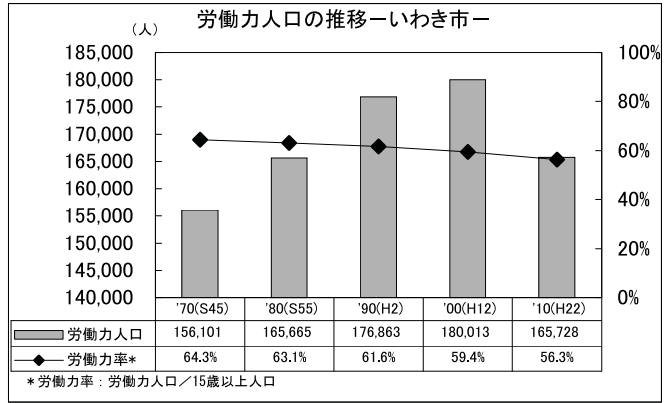


平成 22 年国勢調査より

## 4 労働力人口

労働力人口は15歳以上人口の6割を下回る。この割合は地域別でもほぼ同じであるが、三和・川前地区が幾分高い。

15歳以上人口（H22年10月1日）		294,177
労働力人口総数	労働力人口総数	165,728
	就労者総数	153,886
	雇用者	123,336
	自営業主	13,620
	家族従業者	5,275
	完全失業者	11,842
	非労働力人口総数	107,306
うち	家事	44,580
	通学	15,181
	その他	47,545

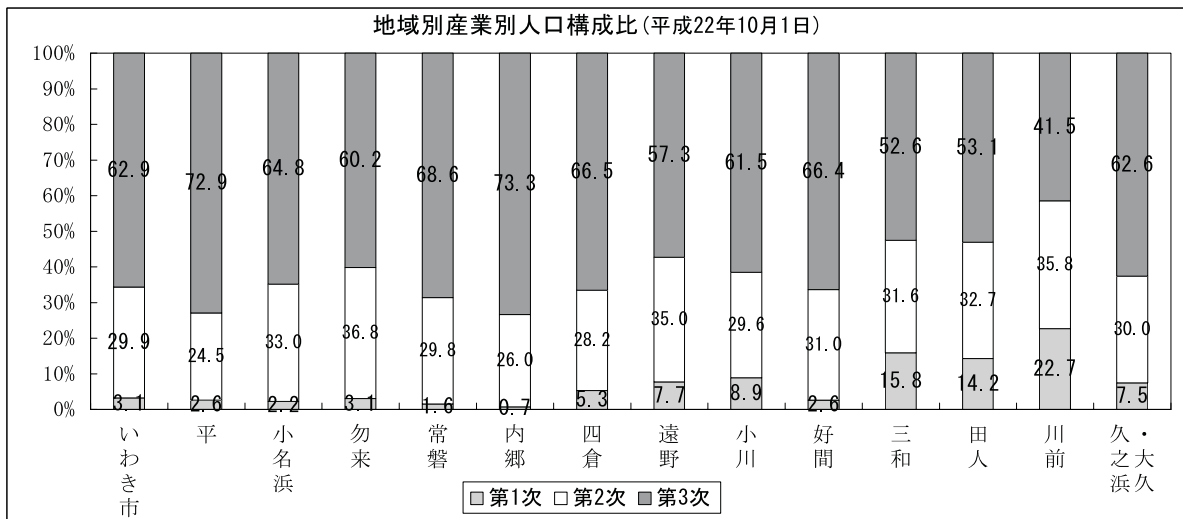
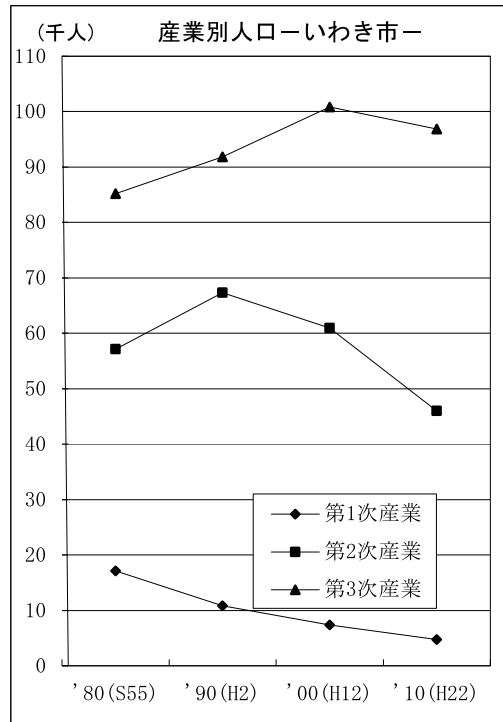


「いわき市統計書」、平成22年国勢調査より

## 5 産業別人口

就業者数は昭和 55 年から平成 22 年の 30 年間で平成 7 年ごろをピークに減少傾向を示している。これを 3 部門別で見ると、第 1 次産業で 71.4%減少、第 2 次産業で 21.9%減少、第 3 次産業で 14.8%増加している。特に、昭和 55 年に就業者の 8.3%を占めていた農林業が平成 22 年には 2.7%と大きく減少している。

いわき市 (単位:人)	'80(S55)	'90(H2)	'00(H12)	'10(H22)
第1次産業	17,135	10,854	7,403	4,736
第2次産業	57,113	67,312	60,936	46,002
第3次産業	85,205	91,861	100,810	96,852
農業・林業	13,322	8,817	6,408	4,132
漁業	3,813	2,037	995	604
鉱業・採石業・砂利採取業	773	337	293	122
建設業	21,194	20,383	21,802	15,658
製造業	35,146	46,592	38,841	30,222
電気、ガス、熱供給、水道業	2,738	1,406	1,444	1,340
情報通信業	...	...	...	1,655
運輸業・郵便業	...	...	...	8,467
卸売業・小売業	32,497	34,437	...	23,742
金融業・保険業	3,167	4,281	3,943	3,001
不動産業・物品賃貸業	494	913	1,122	1,709
学術研究、専門・技術サービス業	...	...	...	3,706
宿泊業・飲食サービス業	...	...	...	9,016
生活関連サービス業・娯楽業	...	...	...	6,973
教育・学習支援業	...	...	...	6,519
医療・福祉	...	...	...	17,802
複合サービス事業	...	...	...	901
サービス業 (他に分類されないもの)	32,150	36,788	44,716	8,752
公務 (他に分類されるものを除く)	4,168	3,442	3,782	3,269
分類不能の産業	-	164	312	6,296
計	159,453	170,191	169,461	153,886

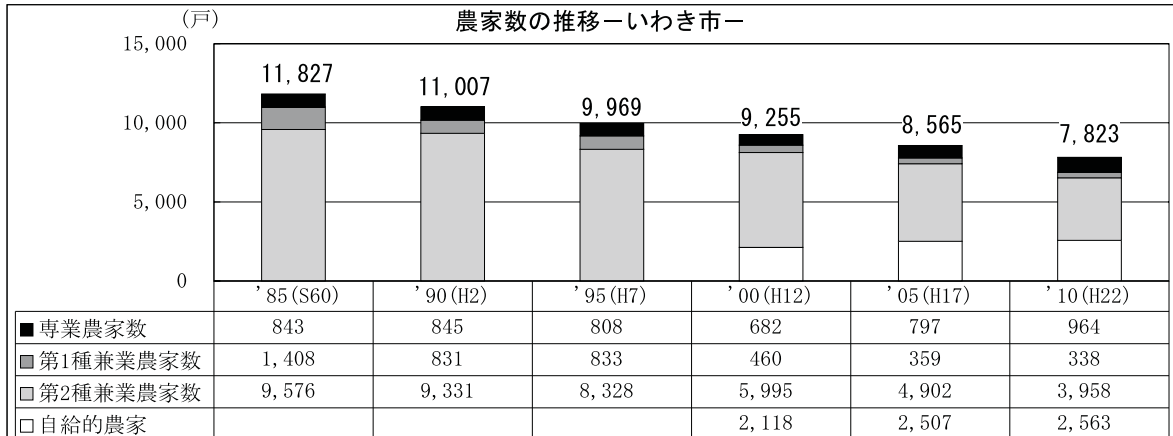


「いわき市統計書」より

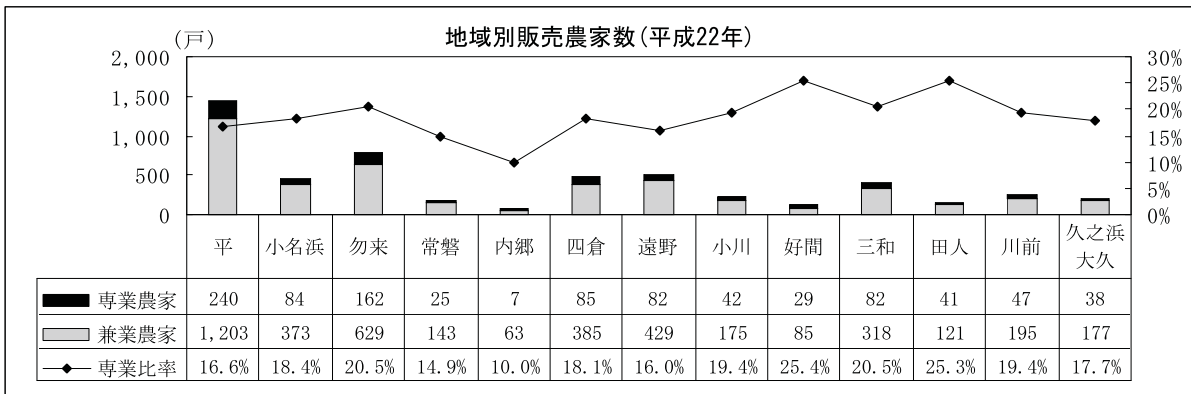
## 6 農業

農家戸数は、昭和 60 年から平成 22 年にかけて 33.9%減少した。農地面積も昭和 60 年から平成 22 年にかけて 31.7%減少した。田が 27.9%、畑が 39.0%減少している。

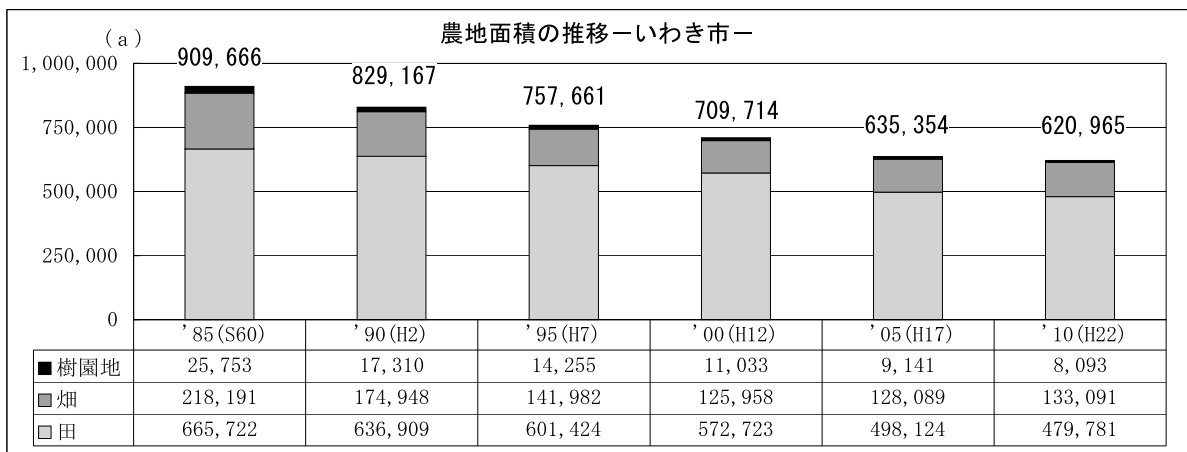
### (1) 農家数



「いわき市の農業」より



### (2) 農地面積

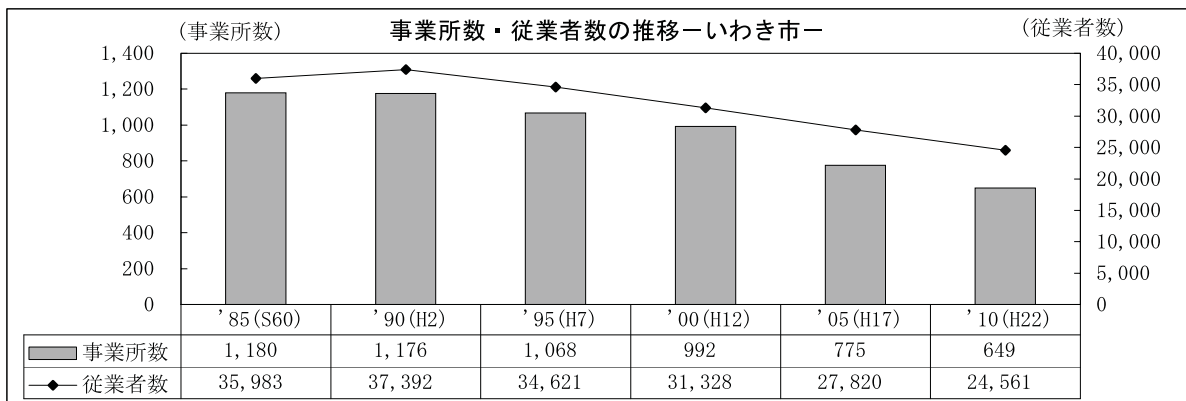


## 7 工業

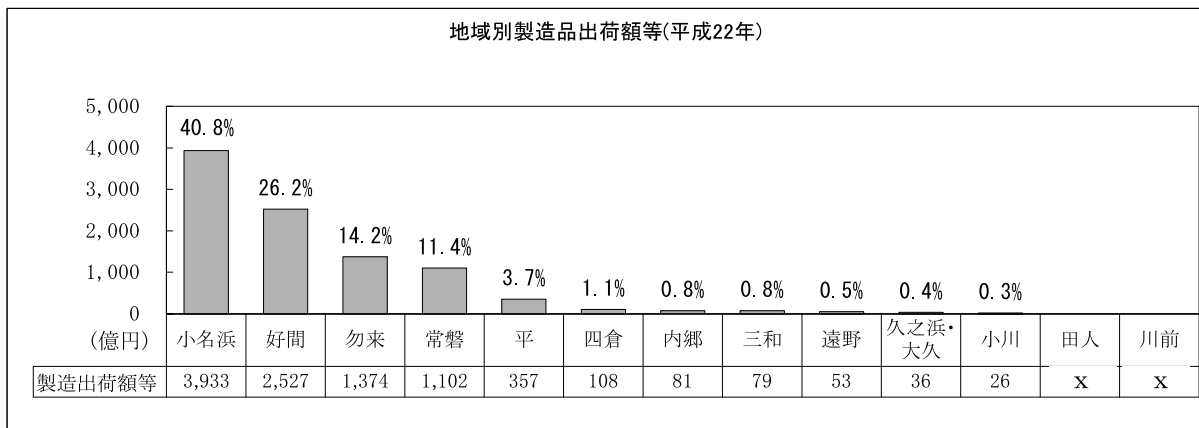
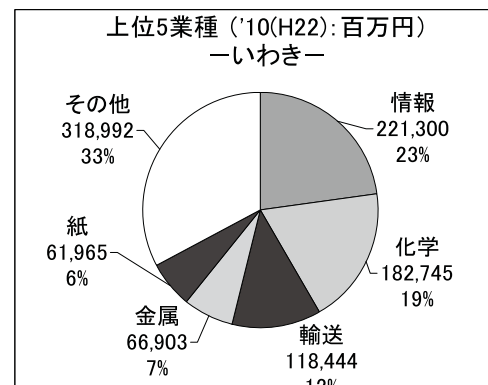
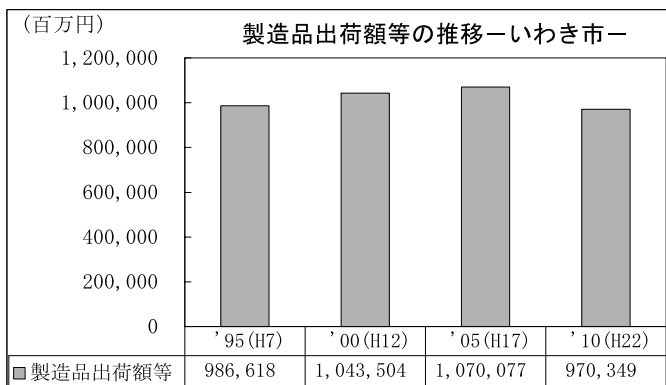
いわき市の製造業は比較的堅調に推移してきた。昭和60年以降、事業所数（従業者4人以上）は昭和61年の1,280事業所をピークに減少傾向となっている。従業者数（同）は平成3年まではゆるやかながら増加傾向にあったが、以降減少に転じ、平成22年にはピーク時より約1万4千人減少している。

平成22年の製造品出荷額等（同）を地域別に見ると、小名浜が40.8%、好間が26.2%、勿来が14.2%、常磐が11.4%で、この4地区でいわき市の9割以上を占める。

### (1) 事業所数・従業者数（従業者4人以上の事業所）



### (2) 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

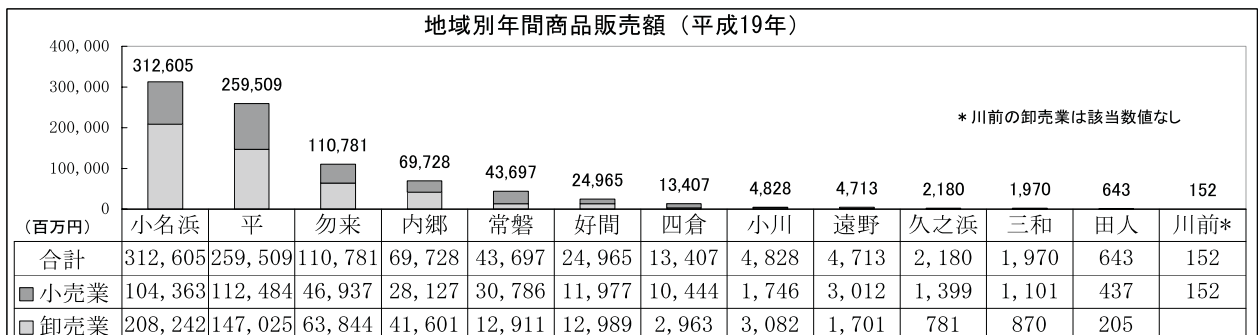
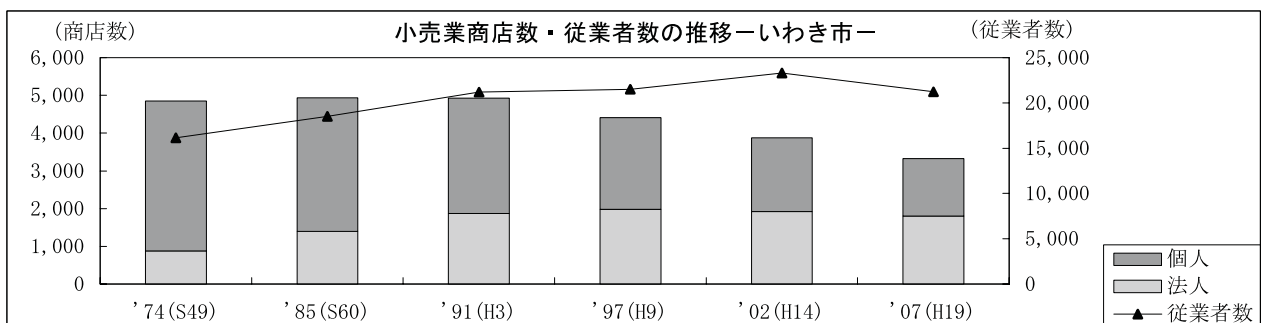
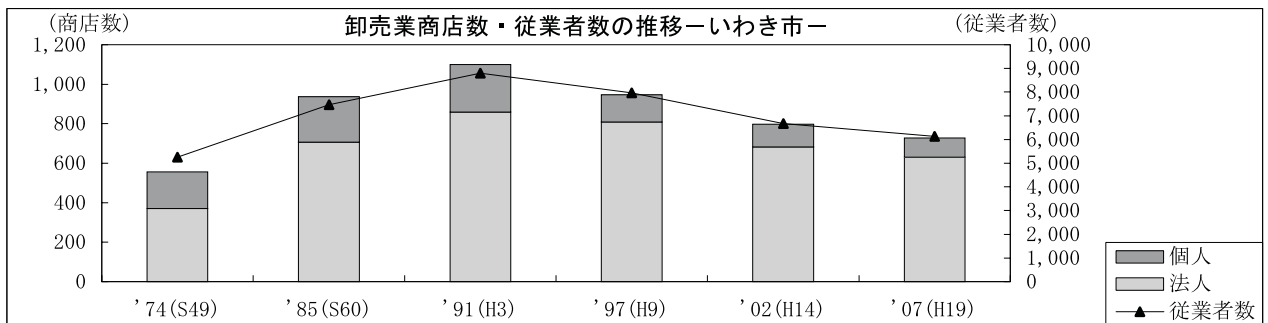


## 8 商業

卸売業では、商店数、従業者数ともに平成 3 年をピークに減少傾向が続いている。年間商品販売額は、平成 9 年をピークに減少に転じているが、平成 19 年は前回調査の 14 年（48,121,033 万円）を上回った。

小売業では、商店数は昭和 57 年（5,258 店）をピークに減少傾向。反面、従業者数・売場面積は年々増加していたが、平成 14 年をピークにこちらも減少に転じた。年間商品販売額は、平成 9 年をピークに減少が続いている。

	'74(S49)	'85(S60)	'91(H3)	'97(H9)	'02(H14)	'07(H19)	
卸売業計	商店数	556	936	1,100	946	798	727
	法人	370	707	858	808	683	630
	個人	186	229	242	138	115	97
	従業者数	5,254	7,464	8,795	7,963	6,673	6,133
年間商品販売額(万円)	11,973,190	41,953,298	61,555,154	59,357,178	48,121,033	49,621,470	
小売業計	商店数	4,847	4,937	4,926	4,407	3,879	3,327
	法人	879	1,397	1,873	1,981	1,922	1,803
	個人	3,968	3,540	3,053	2,426	1,957	1,524
	従業者数	16,149	18,520	21,201	21,515	23,299	21,220
	売場面積(m <sup>2</sup> )	246,867	277,720	346,801	405,745	429,434	441,093
	年間商品販売額(万円)	10,856,351	28,812,454	39,058,901	42,801,764	37,843,243	35,296,418



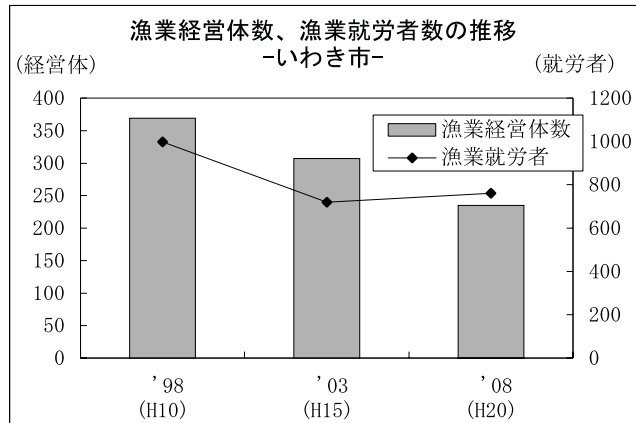


## 9 漁業

漁業・水産養殖業の就業者数は最盛期(昭和40年)の8,264人から減少傾向にあり、平成20年では、761人となっている。漁業経営体数は平成10年から平成20年の10年間に134経営体、同じく漁業就労者数は237人減少している。漁獲高も年々減少しており、平成23年は東日本大震災の影響により大きく落ち込んでいる。

### (1) 漁業経営体数、漁業就労者状況

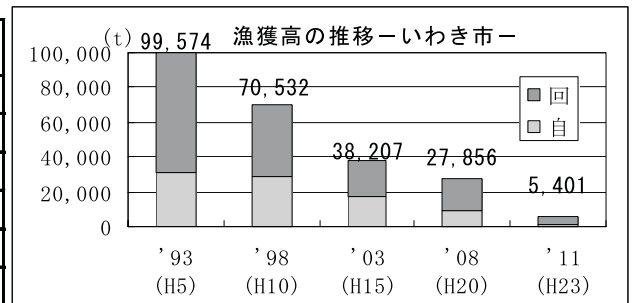
			'98 (H10)	'03 (H15)	'08 (H20)
漁業 経営 体数	個人	専業	124	126	141
		兼業漁業が主	101	93	52
		漁業が従	107	62	23
	会社	34	22	16	
	その他	3	4	3	
漁業 就労者 数	自営のみ		399	322	251
	自営雇われ		9	24	0
	雇われのみ		590	374	510
	沿岸漁業就業者		478	358	236
	沖合遠洋漁業就業者		520	362	15
合計		998	720	761	



「いわき市統計書」より

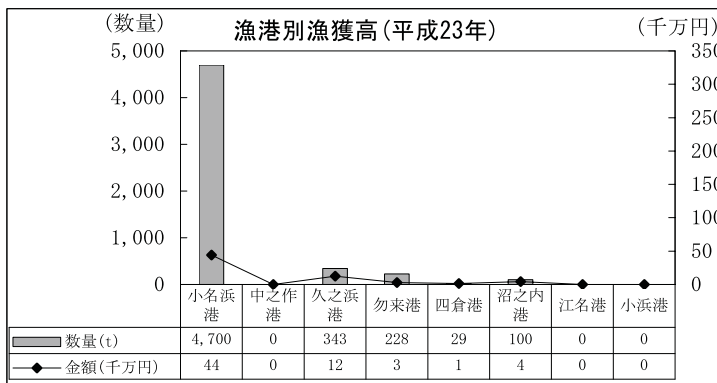
### (2) 漁獲高

			'93 (H5)	'98 (H10)	'03 (H15)	'08 (H20)	'11 (H23)
いわき市	数量	自	30,781	29,218	17,401	9,055	799
		回	68,793	41,314	20,806	18,801	4,602
		計	99,574	70,532	38,207	27,856	5,401
	金額	自	2,686	2,994	2,420	2,669	210
		回	5,490	7,274	3,320	3,473	435
計		8,176	10,268	5,740	6,142	645	



数量(t)、金額(百万円)、自:自船、回:回船

「いわき市統計書」より



#### 【魚種別水揚げ高(平成23年次属地)】

- 1位: サンマ (2,291 t)
- 2位: イワシ類 (1,094 t)
- 3位: サバ類 (1,042 t)
- 4位: イカ類 (193 t)
- 5位: タコ類 (174 t)

平成24年版「いわきの水産」より

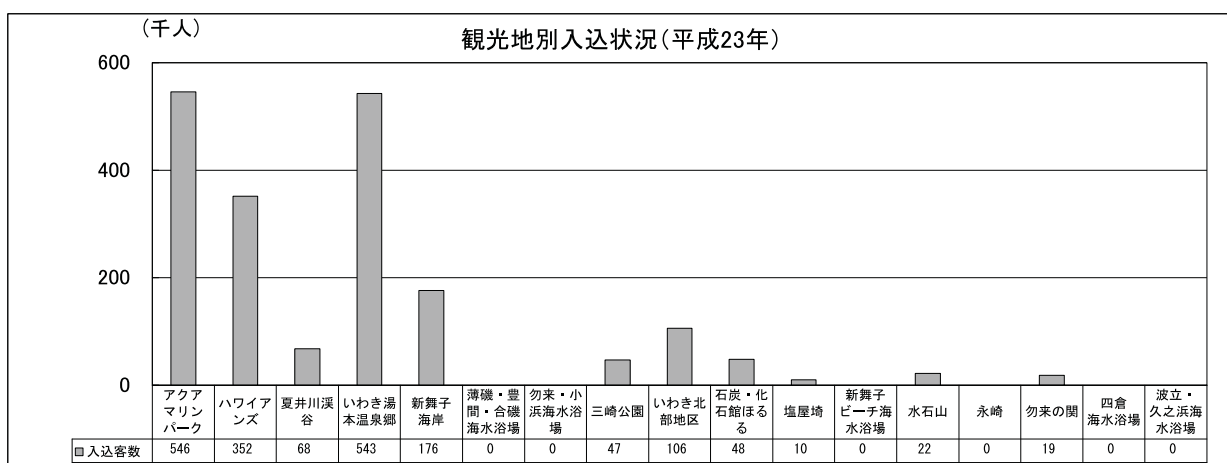
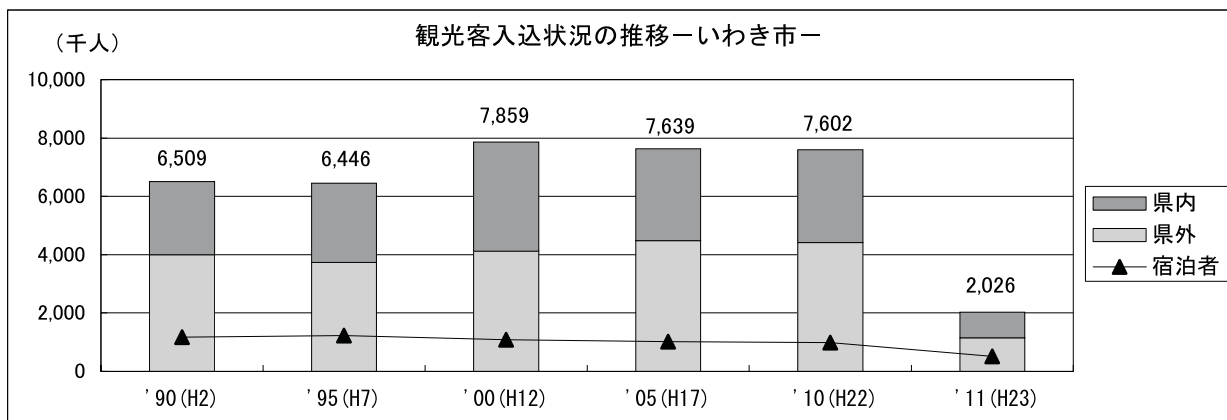
## 10 観光

いわき市は、阿武隈山系の標高 700～500m のなだらかな山、それを源にする夏井川、鮫川等の本・支流の渓谷美、約 60km におよぶ海岸線など、山、川、海が織り成す豊かで多彩な自然があり、「阿武隈高原中部」「夏井川渓谷」「磐城海岸」「勿来」の 4 つの県立自然公園が指定されている。

このような魅力ある自然の中に、白水阿弥陀堂、勿来関などの史跡や塩屋埼灯台、マリントワー、石炭・化石館「ほるる」などの施設、豊富な湯量を誇る温泉などが点在している。

観光客入込の推移は、平成の初めごろは、年間 600 万人前後を推移していたが、アクアマリンパーク（いわきららミュウ[平成 9 年]、アクアマリンふくしま[平成 11 年]）の集客力もあり、平成 12 年の調査では、初めて 700 万人を超えた。平成 21、22 年は、大型連休を利用したアクアマリンパークへの来客増、大型客船「飛鳥Ⅱ」が小名浜港に寄港したことやそれに付随した物産展などのイベントにより港周辺における交流人口が増加した。平成 23 年は東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による影響により、観光入込客数は大きく減少した。

観光客入込状況（単位：人）	'90(H2)	'95(H7)	'00(H12)	'05(H17)	'10(H22)	'11(H23)	
いわき市	合計	6,509,223	6,445,946	7,858,812	7,639,286	7,602,460	2,025,666
	県外	4,002,750	3,735,813	4,119,619	4,478,273	4,410,959	1,145,188
	県内	2,506,473	2,710,133	3,739,193	3,161,013	3,191,501	880,478
	宿泊者	1,170,791	1,223,326	1,087,063	1,018,789	980,722	512,066



「いわき市統計書」より \*いわき北部地区は海竜の里センターと福島県いわき海浜自然の家の利用客数